

報がみじょう

第94号

発行 上条公民館
 館長 山本弘
 総括責任者 山本明男
 編集委員 小池茂
 印刷所 カナイ美術印刷

総務委員会について

総務委員長 小林文幸

総務委員長の小林です。日頃、上条区の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

昨年は2008年以来の台風上陸ゼロで災害のない一年でした。それに取って代わって、まさに新型コロナ禍の真つ中にあり、日々このニュースに影響され、ワクチンを待ちわびつつ三密防止とマス

クで見えない敵と戦いながら、剣が峰を歩き続ける状況が続いています。

さて、今回は上条区自主防災活動についてお話ししたいと思います。この活動は区長を本部長とする上条区自主防災本部が山ノ内町防災本部の指示のもと、防災意識の高揚、災害応急対策、区民の安全と秩序の確保を目的としたものです。今年度は小田区長が災害時の緊急対応を最重要課題と位置づけ、区民名簿の作成と避難所開設マニュアルの制定等の活動を行ってき



コロナ禍の合同会

ました。お陰様で区民名簿は高い賛同を得て、高率で名簿登録することができました。登録に際し組長さんや伍長さんには大変ご苦労をいただき本当にありがとうございました。避難所開設マニュアルの制定では、避難所に安全に避難でき、避難

生活に必要な準備と活動を具体化することができました。これら実現には多くの課題や準備が必要になります。解決に向け取り組んでまいりたいと思います。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



補助金でヘルメットを購入しました

ため、昨年7月に自主防災組織補助金申請、10月に補助金申請、11月に承認の連絡を受け、11月21日の研修センター大掃除に合わせ、自主防災組織全員にヘルメットを配布しました。ヘルメットの

正面に 上条のロゴを印刷したもので、上条神社由来の漢字を使用したことにこだわります。上条神社常例祭の幟立てで皆さんにお披露目する以外に、災害等でこのヘルメットが使用されることがないことを祈るばかりです。



避難訓練

昨年7月の世界平均気温が18.91年統計開始以降最も高くなりました。長期的には100年当たり約1℃上昇しているようですが、ここ20年間で1℃上昇が確認されました。これは温暖化が急激に進行していることの裏付けと思われることです。この1℃が災害の大規模化、過去100年経験したことのない、予測を遙かに超えるものになっていることが全国のニュースで報じられています。また、グローバル化によって色んなメリットの反面、ウイルスの拡散等のデメリットも急速に進行させることを今回の新型コロナで経験しました。上条区の先人が残してくださった資産や文化を大切に、環境の変化にも対応しつつ引き続き任務を全うしたいと思えます。明けな



越年元旦祭

願う、秋の常例祭(収穫を前に区民参加での神社で行われる最も重要な最大の祭り)、収穫後の新嘗祭(収穫の無事を感謝)、越年元旦祭(大過

貸地委員会

一年間を振り返って

貸地副委員長 内堀伸夫

昨年の三月、貸地副委員長の役割を受け一年が過ぎようとして、漸く年間の事業内容が理解できるようになりました。

貸地の事業だけが自分の仕事ではなく、温泉事業の手伝いもいたします。財法全員で行う温泉ボーリング掃除は、約三時間ハンマーを振り続け、圧送空気パイプに付着した湯花を落とします。筋肉痛とホコリと耳鳴りとの戦いです。また、浴場の天井の掃除は、



常例祭の花火にて!

祈る)を通して五穀豊穡を願う併せて地域の発展を願う一方で、上条神社は区民の日常の「喜怒哀楽」に寄りそい心穏やかな生活を願う場所でありたいと思っております。

加の常例祭も代表者のみの神事で執り行われました。氏子総代では、区民の心痛を思い「元氣を出そう」の思いを込め、打ち上げ花火でエールを送りました。いかがでしたでしょうか。これからも区民を見守り心の拠り所である神社でありたいと思っております。



浴場の掃除

受けながら、全く逆さまな作業を、筋肉痛や首痛と戦いながら数時間続けました。貸地事業としては、境界線の確認、ふれあい広場の除草剤散布と草刈りの実施、貸地料徴収や名義変更など数多くの事業があり、財法全員で行うことでお互いが理解し、諸先輩方の残して頂いた財産を維持管理する事が出来ると思えます。

しかしながら、昨年から広まった新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、地域活性化活動の行事も中止せざるを得ない状況の中で、上条区・上条区民の皆様の理解と協力を頂いて貸地事業運営を行っていきたいと思えます。

しかし、区民の精神的な部分を担う上条神社は建立されて四百年、現在の神社が再建され二百年経ちます。(かみじょう広報上条神社由緒から)

古式豊かな由緒ある上条神社は、神社自体老朽化が進み、拝殿の一部の損傷、風雨を防ぐ戸張りの劣化が目立っております。

総代では区の四役と会議を重ね、修繕に向けての取り組みについて検討を始めています。決定の折には区民の皆様



二年参り

様の絶大なるご支援をお願いいたします。

区民の皆様のご多幸をお祈りいたします。



老朽化が進む上条神社

西上組

一年間を振り返って

西上組組長 松田 明

今年度上条区組長会長を務めました、西上組組長の松田と申します。今年度の始まりは、新型コロナウイルス感染症が世界的に確認され、区の様々な行事が感染予防のためにことごとく中止となり非常に残念な年となってしまいました。



また、旅行やお盆・お正月と人の動きも抑制され、子供たちの帰省もできず、皆様においても大変厳しい年になった一年であったと思えます。そんな中の区の業務運営には、区長さんをはじめ、区

の役員の皆様、会議ができない、新しいスタイルでの運営に大変なご苦労があったと思っております。令和二年度は組長会長として、右も左もわからないため、区の事について学ばせていただきました。今年度は、この新型コロナウイルスが終息の方向に向かい、新役員さんのもと、区の各行事が無事に開催されることを願うとともに、区民の皆様のご多幸とご健康を祈念して退任のご挨拶といたします。

一年間大変ありがとうございました。

上条マレット愛好会

会長 竹内光一

私達マレット愛好会は、年間次のような事業を行っております。毎月の例会及び年二回の遠征大会、会長杯、納会大会、また町協会や各種大会

の参加に多くの会員が出席します。会員の中には、遠く長野県連盟の大会に参加される方もいます。

練習は各人の都合で行いますが、近隣からのマレット愛好者が大勢来場されるのでコースを譲り合いで行い、一日中コースが空く事がない状態です。



私も入会して八年になります。会員や町協会の方と楽しく練習したり健康維持のため、毎日のように出かけるのですが、まだまだ成績は下の方で先輩会員の方に遠く及びませません。年齢を感じさせない集中力、技術力また体力には驚くばかりで、私も先輩を見習い成績が上がる事を願うばかりです。

どんど焼き



昨年はコロナ感染の影響で大会も減ってしまい残念でした。今年は早期にコロナ感染が出来るように願っています。また愛好会も年々会員数の減



少が続いておりますが楽しくプレーし健康の維持や会員同士の親睦を大切にしています。マレットに興味のある方の入会をお待ちしています。

育成会

令和二年度育成会を振り返って

育成会長 西上組 佐怒賀和美

日頃より育成会に對しまして、皆さま方のご支援ご協力を頂きありがとうございます。コロナ禍で始まった令和二年度も間もなく終わろうとしています。年度当初に予定していた育成会行事も、予想を上回るコロナ感染拡大により、中止せざるを得ない事ばかりとなってしまいました。



しかし、そんな中でも各組ごとに、夏休み中には小学校は朝のラジオ体操を、中学校は地域への奉仕活動を、連絡員さんたちの創意工夫の下で安全に実行する事ができました。

また、ある組では夏休み親子で製作できる天体望遠鏡キットを配布した事もありました。

少年野球や少女ソフトボールの活動は、感染状況をみながらの練習や大会の開催で、子ども達の活躍の場が出来ました。

年度末には、図書券やクオカードの配布も予定しており、今後の子ども達の学習に役立てて頂こうと思っております。

この一年間全く至らない育成会長ではありましたが、このように子ども達が無事に成長する事が出来たのも、上条区の皆さまが温かく見守ってくださったおかげと大変感謝しております。また、区



御礼申し上げます。

編集後記

令和三年の「館報かみじょう」94号を、無事発行する事ができました。

小田区長、青木理事長はじめ役員の皆様は温かい心使いがあつたればこそです。

今回の発行にあたり、原稿をお寄せくださいました皆様には、お忙しいなか大変ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

